

報道機関各位

地域力で人材確保アクション！

“人が足りない”を成長のチャンスに  
**北九州発！DXで創る「未来に繋がる企業づくり」**

～産学官民が共に行動する『人材不足を乗り越える官民対話テーブル』第4回～

北九州市では、今年度新たに、若者の定着や企業の人材確保を強力に推し進めるプロジェクト、「地域力で人材確保アクション」を始動しました。

このアクションの一環として、北九州商工会議所など経済界や業界団体、人材不足に果敢に取り組む中小企業の経営者、地域の課題に向き合いたい大学生など、多様な参加者が一堂に会する「人材不足を乗り越える官民対話テーブル」を5月30日に設置しました。

これまでの対話を通じて、参加者から「企業間で人材の奪い合いになっている」などの切実な現状が共有されるとともに、「北九州で働くことを思い描けるイメージづくりが大切」、「女性やシニアを一括りでなく、置かれている状況に応じて戦略的な広報が重要ではないか」などのご意見をいただきました。

前回の第3回対話テーブルでは、「副業人材活用が市全体に広がり、北九州市が“日本一副業を受け入れるまち”になれば市の活性化に繋がる」「副業・スポットワークによる人材確保とDX・AIによる業務効率化の掛け合わせで多様な働き方を実現し、働く喜びを創出する好循環が生まれる」など様々な視点で意見交換が行われました。

第4回目となる今回（7月25日）は、「DX等の生産性向上に関すること」がテーマ。人手不足が進む今こそ、現場の負担を減らし、“人に優しく、効率よく働ける職場づくり”が重要です。そのカギを握るのが、DXの力。しかし、ノウハウ不足や導入のハードルの高さなどにより、「何から始めれば？」と悩みを抱える企業も少なくありません。

前回に引き続き、地元愛にあふれる大学生やDXに取り組む企業と共に、リアルな声や成功のヒントを共有しながら、「未来に繋がる企業づくり」を地域全体で実現できるよう、議論してまいります。

記

1 日時 【第4回】 令和7年7月25日（金） 14：00～16：30

2 場所 リーガロイヤルホテル小倉3F オーキッド  
（北九州市小倉北区浅野 2-14-2）

3 テーマ

※終了	【第1回】「若者の採用や定着に関すること」	（5月30日）
	【第2回】「女性・シニア・外国人等の多様な人材の活躍に関すること」	（6月26日）
	【第3回】「副業・スポットワーク・テレワーク等の多様な働き方に関すること」	（7月10日）
	【第4回】「DX等の生産性向上に関すること」	（7月25日）
	【第5回】「第1回から第4回のまとめ」	（8月以降）

4 次第 14：00 開会  
14：05 議事 ・ 人手不足に関する現状と課題（産業経済局雇用・産業人材政策課）  
・ ゲスト企業等からのスピーチ（5社）、参加者からの意見交換等  
16：30 閉会

5 第3回の様子 別紙のとおり

【問い合わせ先】 産業経済局雇用・産業人材政策課  
担当課長：中川、担当係長：小路

TEL：093-582-2419

## ■第3回「副業・スポットワーク・テレワーク等の多様な働き方に関すること」 において挙げたご意見やアイデア

### 副業について

- 副業人材を月額数万円で採用できることを初めて知った。とても興味深い。
- 高度副業人材を受け入れ、中小企業の支えとなる素晴らしいコンテンツだと感じた。業種関係なく幅広く広がれば、北九州市が「日本一副業を受け入れるまち」として市の活性化に繋がると思う。
- 自社の課題にあった副業人材を受け入れることで、課題解決はもちろん、副業人材のスキルやノウハウを自社社員にも浸透させることができた。
- 学生目線から、首都圏在住の副業高度人材が市内で活躍することで、市内で働きたい人の雇用機会を奪わないか、ローキャリア社員の能力向上の壁とならないか少し不安を感じる。
- 経営層の副業に対するイメージが首都圏と異なるように感じる。市内企業の経営層に対して、副業人材の受け入れ及び副業解禁が自社に与える利点等を知るマインドセットも必要と考える。
- 副業人材を低コストで利用し、その分を社員の給与等に還元できれば理想的なサイクルができると思う。
- 各企業の取組を共有、連携できれば、市全体で副業兼業を受け入れる環境作りができるのではないか。

### スポットワークについて

- 企業内で業務の分解・仕組化・切り出しができていないと、スポットワークの活用は難しい。その仕組みづくりも行政側でサポートできるとスポットワークの普及も進むと考える。
- 専門性のある業種によっては、業務前に安全教育等が必要な場合があり、スポットワーク活用にハードルを感じる。企業単位では難しいため、市による労働バンク等の制度設計を検討してはどうか。

### その他

- 売り手市場の採用環境で企業が選ばれるには、企業側が変化を受け入れ、時代に合った新しい働き方を取り入れる姿勢が重要ではないか。
- 福利厚生の充実により、中途採用者が増えた。福利厚生を重視する求職者は一定程度おり、学生にも目に留まりやすい。柔軟性のある職場環境づくりは、求職者に選ばれる上で重要な条件となってきた。
- 市の施策はもちろんのこと、多様な働き方を積極的に行っている企業の取り組みを PR することで市内企業全体に多様な働き方を取り入れる風土が根付くのではないか。

### ■第3回の様子

